

地域密着型金融推進計画と金融仲介機能の発揮に向けた取組みについて

金融仲介機能のベンチマーク

平成29年度計画

日高信用金庫

1. 地域密着型金融推進と金融仲介機能の発揮

(1) 基本方針

当金庫は創業の原点である「地域にとってなくてはならない信用金庫」であるべく、地域の企業等への経営支援をはじめとして、積極的に金融仲介機能を発揮していくことで、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

(2) 地域密着型金融推進計画の概要

1. ライフステージ等に応じた取引先企業支援
2. コンサルティング機能の強化
3. 地方創生への取り組み等による地域貢献活動

2. 平成29年度事業計画と地域密着型金融推進計画

地域密着型金融とは、「金融機関が顧客との間で密接な関係を長期間に亘り維持することで貸出金等の金融サービスの提供を行うビジネスモデル」です。平成29年度事業計画の課題解決の具体的な取り組みの推進により、地域密着型金融、金融仲介機能の発揮を実現していきます。

◎平成29年度事業計画の具体的な取り組み

- (1) 課題解決への取り組みとして、地域経済分析を実施し、お客様の事業性評価等に活用していきます。
- (2) 経営改善支援先の訪問・面談活動を実施することにより、お客様との対話、情報の共有化、提案態勢の強化を行っていきます。
- (3) 外部専門家派遣事業等を活用したお客様の経営支援を実施していきます。
- (4) 当金庫若手職員と各町の若手経営者・後継者との交流会、浦河町における「創業塾」、とんがりロード観光物産展への参画、「ひだかしんきん地域支援ネットワーク」の活用を推進してまいります。

3. 金融仲介機能のベンチマークの活用

平成28年9月、金融庁より「金融仲介機能のベンチマーク」が策定・公表されました。当金庫は、地域密着型金融を推進し、金融仲介機能の発揮に向けた取組みを実施していく中で、ベンチマークの指標を活用していきます。

金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価するための指標であり、以下の3つのベンチマークで構成されています。

共通ベンチマーク	すべての金融機関が金融仲介の取組みの進捗状況や課題を客観的に評価するための指標。
選択ベンチマーク	各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる指標。
独自ベンチマーク	各金融機関が金融仲介の取組みを自己評価するうえで、より良い指標がある場合、独自に設定できる指標。

○当金庫は、共通ベンチマーク5項目の活用状況について来年度に公表いたします。